

子どもたちが丸池をレポート

5月27日(月)〜31日(金) 市役所1階市民ホールで展示

約30年ぶりの復活から2年がたった丸池の周辺で、中原小学校と東台小学校の子どもたちが植物や生き物の観察を行い、地域のみなさんにも協力してもらいながらレポートをまとめました。4月20日・21日に新川中原コミュニティまつりで発表されたレポートは、子どもたちが丸池と向き合って、身近な自然を体験したものであります。

このレポートを、5月27日(月)〜31日(金)に市役所1階市民ホールで展示します。みなさんぜひご覧ください。

レポートは、中原小の3年生(現4年生)、5年生(現6年生)、東台小の3年生(現4年生)、5年生(現6年生)が作成した。4月からの新しい学習指導要領で新設された、総合的な学習の時間へ試行的に取り組む中で、昨年の5月から地域の自然の素材を体験しながらまとめたもので、

中原小の3年生は、一人ひとりが思い思いに植物や昆虫など、丸池の周辺で出会った自然の絵を描



丸池公園には自然がいっぱい。子どもたちが自然の生きものがいるかな。次々と質問をぶつける子どもたち

丸池の里わくわく村(小野) 03-3300-7520

きました。アメンボは冠の裏に油がたまるので水に浮かぶことができない。自分達が発見したことを一緒にメモしてあります。

東台小の3年生は、丸池の水温やそこに生息する植物や昆虫・魚などの生き物の様子も、四季を通じて細かく観察し、その成長をパソコンによって、色ごとの作品に仕上げました。

5年生は自分で決めたテーマを、地元の水辺や、学校のイイトラネットを通じて、地域の生、わくわく村のみなさんは、丸池に来る子どもたちのガイド役になり、また時には学校に出向いて、昔の丸池や仙川の話を聞いて

であるメンターさんからのアドバイスを受けて深く掘り下げました。「こんなはずらしい丸池のことをもっとみんなに知ってもらいたい」と、池の歴史・植物・生物などが紹介されたパンフレットの作成を計画し、昨年10月に名前がついた「ほっかりじま」について、あひろに行ってみようという目標を掲げ、あひろの里全体の整備も進んできました。この4月には丸池をのぞき展望広場がオープンするなど、丸池の里全体の整備も進んできました。この4月には丸池をのぞき展望広場がオープンするなど、丸池の里全体の整備も進んできました。

山本有三記念館 戯曲の領域展

5月21日(火)〜7月14日(日)

まな時代の史実や逸話から題材を取っていますが、歴史そのものに関心を向けたいのではなく、例えば維新前後を繰り返して取り上げられることにより、現代社会の始まりを注視しているのです。時代や社会を問い直すという意味において、彼の作品は時代も、歴史ものもつながっていると考えられます。そこにある平和や幸福への希求を読み取れば、そのまな時代の文学と受け取れます。

本展では、戯曲集ほか関連資料で往時を回顧し、有実態について考察していきます。

◆会場 三鷹市山本有三記念館(下連雀) 21・27 念(6)303

◆開館時間 午前9時30分〜午後4時30分

◆休館日 月曜日(月曜が祝祭日の場合は開館)、祝祭日を除く翌日と翌々日を休館。

◆必多企画展のパンフレットは500円程度で発売中。

戯曲原稿「女人哀詞」1930年発表作を、戦後に表記をあらためたもの(東京都教育委員会所蔵)

「米百俵」2001年新潮文庫



本番を前にした音合わせ(中央が長倉さん)

みながジュニア・オーケストラ(MJO)でコンサートマスターを務める長倉雅也さん(明星学園中学校3年生)が4月14日、ハワイ・ユース・シンフォニーのコンサートに招かれてリハーサルに演奏しました。

ハワイ・ユース・シンフォニーは、40年近くの歴史をもつハワイのジュニア・オーケストラで、メンバーは14〜18歳で、ハワイ中からオーディションで選ばれ、難易度の高い

現代音楽を積極的に取り組んでいます。MJOとの交流は、一昨年から同シンフォニーのサマーキャンプにMJOの有志が参加し始めたのがきっかけで、今回のコンサートで、ユース・シンフォニーのコンサートマスターと長倉さんのパートナーとして、アラスカのジュニア・オーケストラから招待されたフレデリック・ホルン奏者の3人の共演が企画され、ハワイ大学音楽教授でもある作曲家のニール・マッカイスさんが



アラスカから来たエリカさん(左)、ハワイ・ユース・シンフォニーのライアンさん(中央)

音楽を通じた青少年の交流イベントは地元で大切に注目され、長倉さんは地元の高校に招かれたり、新聞やテレビでも紹介される熱烈な歓迎ぶり。当日のコンサートには世界的な太鼓奏者のケニー・エントウ氏も出演し、長倉さんたちも期待を抱えて立派にその声をつとめ、会場の1千人の歓声に包まれました。

「手をつなごう」

みたかジュニア・オーケストラの長倉さんがハワイ・ユース・シンフォニーと共演

音楽を通じた青少年の交流イベントは地元で大切に注目され、長倉さんは地元の高校に招かれたり、新聞やテレビでも紹介される熱烈な歓迎ぶり。当日のコンサートには世界的な太鼓奏者のケニー・エントウ氏も出演し、長倉さんたちも期待を抱えて立派にその声をつとめ、会場の1千人の歓声に包まれました。

長倉さんは目を輝かせて語ってくれました。

チケットインフォメーション

三鷹市芸術文化振興財団 (三鷹市芸術文化センター内)

47-5122 http://mitaka.jp.or.jp/

チケットのお求め方法

- 電話予約 芸術文化センター ☎ 47-5122
- 窓口販売 芸術文化センター/三鷹市美術ギャラリー/三鷹市公会堂
- 販売時間・休館日 10:00〜19:00 月曜日休館
- プレイガイド チケットぴあ ☎ 03-5237-9999

友の会MARCL (マークル)

財団主催の全公演のチケットが1割引(割引は2枚まで)で購入でき、優先予約日があるので、よりよい席でお楽しみいただけます。また、発売日より前に情報誌を送ります。

で、公演情報を漏れなく知ることができず。年会費は2,000円です。くわしくは芸術文化センター ☎ 47-5122

三鷹市公会堂

★韓国スーパー・パーカッション・グループ PUKA

5月25日(日)16:00開演 全席指定/会員=2,700 一般=3,000

出演/元・金雄植・南相一・鄭在日 今話題の国、韓国の若手パーカッションの第一人者で無形文化財の元一による伝統音楽とロック、サンバ、アフリカ音楽が融合した独自の世界。

★綾戸智絵 2daysライブ

8月3日(日)18:00開演
8月4日(月)16:00開演
全席指定(各回)/会員=5,400 一般=6,000
ゲスト/3日:中村真(ピアノ)、安川川大樹(ベース) 4日:宮野弘紀(ギター)

1998年、40歳でデビューした綾戸智絵は、笑顔を絶えずと自由奔放なステージはジャズのイメージを一新し、ジャズ未経験の方にも感動を与えています。

今回は、日替わりのゲストを迎えての2日連続ライブです。

芸術文化センター風のホール

●秋吉敏子ソロ・ピアノ・コンサート「スケッチ・オブ・ジャパン」

6月12日(日)19:15開演 全席指定/会員=4,500 一般=5,000
単身アメリカに渡って以来45年余り、アメリカにおける偉大なジャズの伝統をしっかりと受け継ぎながら、アジアのルーツに根ざした独自の世界を展開してきた秋吉敏子の氣迫に満ちたピアノ・プレイ。

★ケマル・ゲキチ ピアノ・リサイタル ~オール・ショパン・プログラム~

7月6日(日)18:30開演 全席指定/会員・三鷹市内在住の方=2,000 一般=2,500 学生=1,300

強烈な個性と確かなテクニック。CD「栄光のショパンコンクール第4集」にもマズルカの演奏でその名を轟かすケマル・ゲキチのショパンをぜひお楽しみください。

★沼尻竜典&トウキョウ・モーツァルト・プレイヤーズ

沼尻竜典の弾き振りによるモーツァルト:ピアノ協奏曲全曲演奏シリーズ2

7月13日(土) 19:00開演 全席指定/会員=2,700 一般=3,000 学生=1,500

出演/沼尻竜典(指揮・ピアノ) 緑川まり(ソプラノ) トウキョウ・モーツァルト・プレイヤーズ(管弦楽)

曲目/モーツァルト:ピアノ協奏曲第20番 二短調 K.466 プッチーニ:「ジャン・スキッキ」より「私の大好きなお父さん」ペーターヴェン:交響曲第7番 イ長調 op.72はかばかピアニストとして逸材の沼尻竜典が指揮をしながらピアノを弾くシリーズ。モーツァルトの傑作を、またソリストの緑川まりさんがオペラアリアの名曲を披露します。

★印の公演には託児サービスがあまりです。各回500円/対象:1歳半〜未就学児、定員10人、要予約